

西尾市地区別防災カルテ

①基本情報

地区No	17
地区名	一色中部小学校

●地区の概況

市南西部に位置し、地区東側の三角州は、大部分が農地として使用されている。旧河道が北端部と南東部にあり、その周囲は自然堤防となっている。西端の段丘には住宅地が集中するほか、平野部にも散在する。中央部を南北に一色排水路が流れている。国道247号が南部を横切るほか、主要地方道豊田一色線などが幹線道路となっている。

●人口の状況 ※令和2年国勢調査より

世帯数	2703 世帯	
65歳未満	5522 人	73.2 %
65歳以上	1953 人	25.9 %
合計	7546 人	

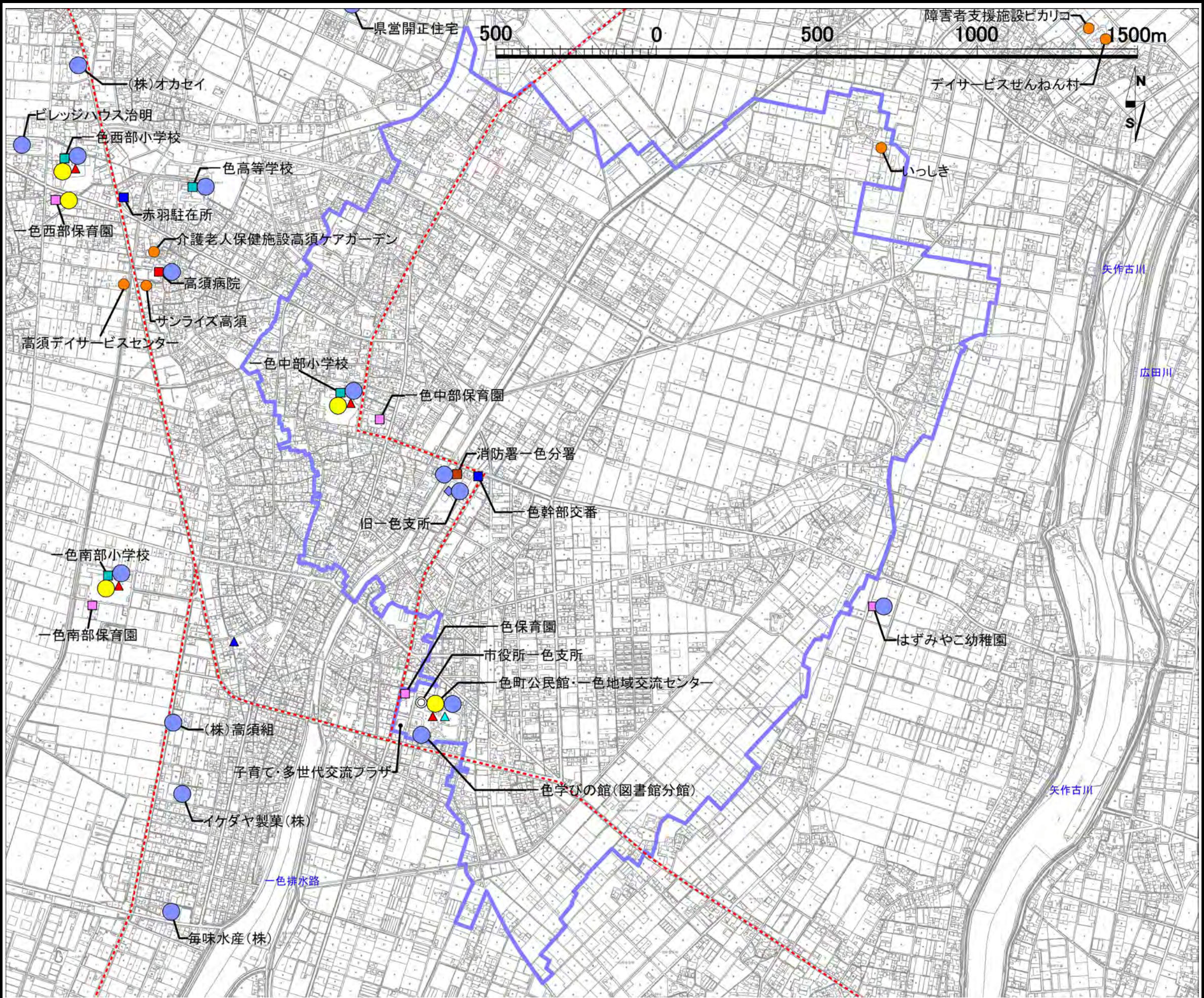
※合計値は年齢不詳の人口も含む

●地区の課題

洪水、津波、高潮発生時のいずれにおいても地区の大半が浸水するため、避難所が浸水する可能性がある。
特に津波発生時は、浸水想定区域外までの最長避難距離が7kmであることから、速やかに避難を開始する必要がある。
地震時は、全域で建物倒壊の危険性が高く、段丘部以外では液状化の危険性も高い。また、住宅密集地では、避難路の閉塞が起こりやすいほか、延焼火災が発生しやすい。

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所	学校
津波一時待避所	幼稚園・保育園等
福祉避難所	防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
市役所・支所等	水防倉庫
警察署等	飲料水兼用耐震性貯水槽
消防署等	防災活動拠点
救急病院	衛生施設
水位観測所	その他の施設
雨量観測所	
小学校区界	市町村界
鉄道	緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

②洪水被害・土砂災害

地区No	17
地区名	一色中部小学校

●地区別大雨等被害の特性

地区西部の市街地を除くほぼ全域が浸水想定区域となっており、広範囲にわたり1m以上3m未満の浸水が想定される。
地区内に2箇所ある指定避難所のうち、一色町公民館・一色地域交流センターと、地区内で福祉避難所として指定されているいっしきは浸水想定区域に含まれている。

●避難環境評価

避難所収容者数	8100 人
避難者数	7546 人
最長避難距離	約 2.5 km

※避難所収容者数は洪水時のみの人数

●最大浸水深

対象全河川(重ね合せ)	1m以上3m未満
矢作川	1m以上3m未満
矢作古川・広田川・須美川・安藤川	1m以上3m未満
朝鮮川	範囲外
矢崎川	範囲外
北浜川・二の沢川	1m以上3m未満
乙川	範囲外
鳥羽川	範囲外
八幡川	範囲外

●土砂災害リスク

土砂災害警戒区域(急傾斜地)	0 箇所
土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)	0 箇所
土砂災害警戒区域(土石流)	0 箇所
土砂災害特別警戒区域(土石流)	0 箇所
土砂災害警戒区域(地すべり)	0 箇所

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所(洪水・土砂時使用可)

福祉避難所

市役所・支所等

警察署等

消防署等

救急病院

水位観測所

雨量観測所

学校

幼稚園・保育園等

防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等

水防倉庫

飲料水兼用耐震性貯水槽

防災活動拠点

衛生施設

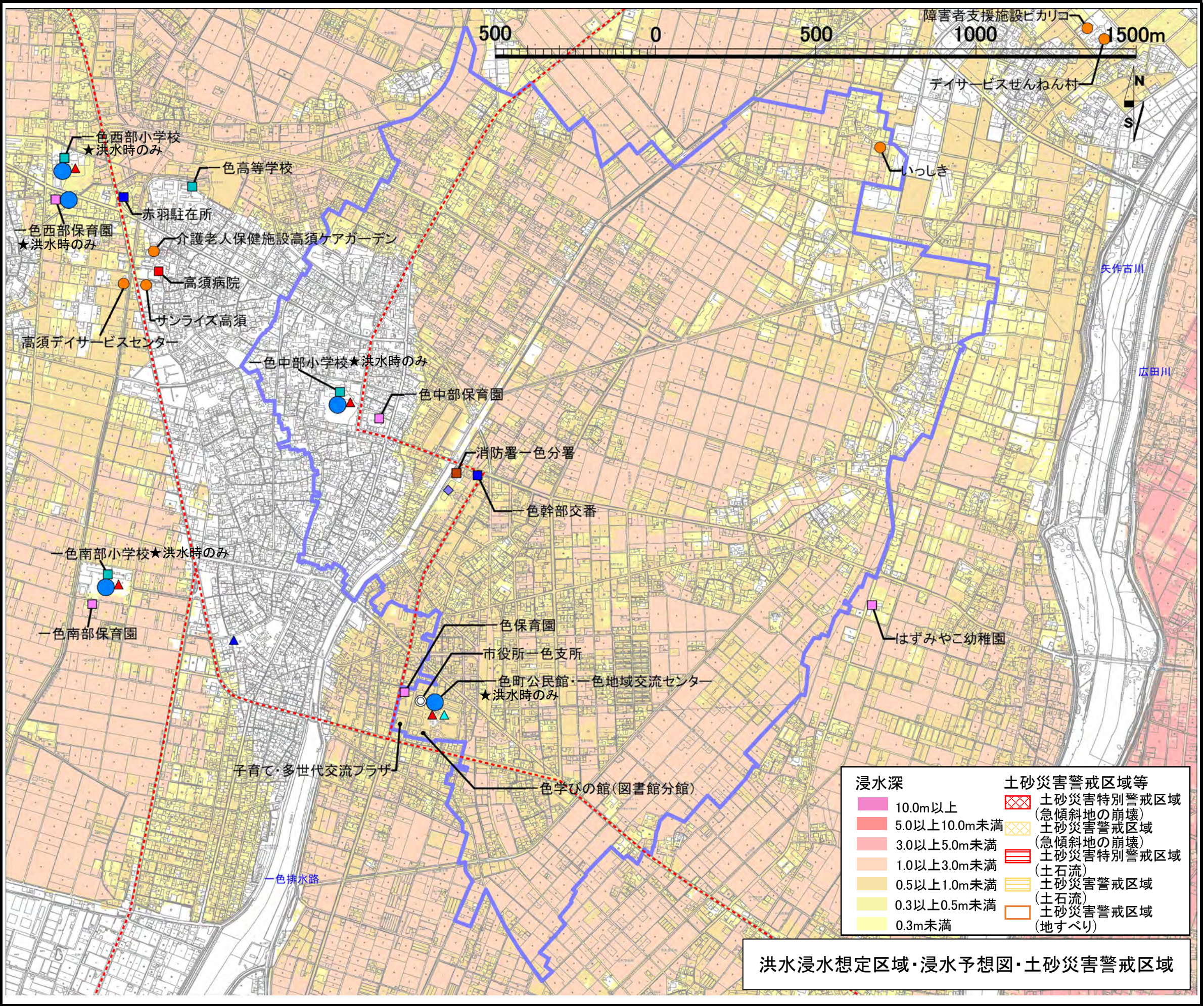
その他の施設

小学校区界

鉄道

市町村界

緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

③地震被害

地区No	17
地区名	一色中部小学校

●地区別地震被害の特性

過去地震最大モデルでは、最大震度7から震度6強となる。(下図参照)
西側の市街地を除き、液状化の危険度は極めて高く、一色町公民館・一色地域交流センター、緊急輸送道路である豊田一色線、国道247号も液状化被害の可能性があるほか、一色中部小学校周辺では延焼火災の危険性がある。

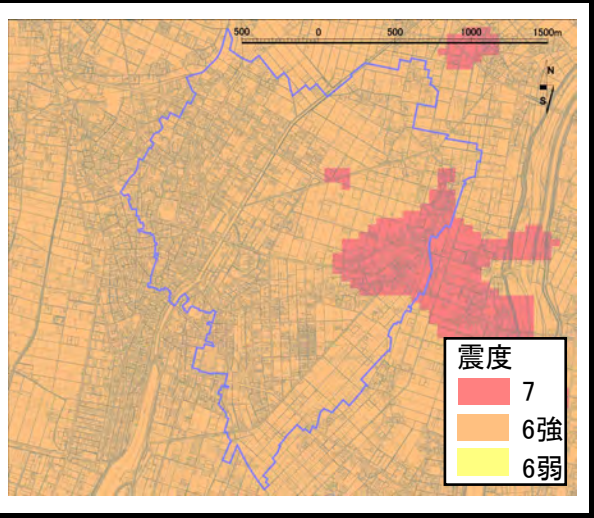
●避難環境評価 ※平成26年地震被害予測調査結果より

避難者数 ※津波による建物倒壊避難者も含む	5285 人
--------------------------	--------

●被害想定 ※平成26年地震被害予測調査結果より

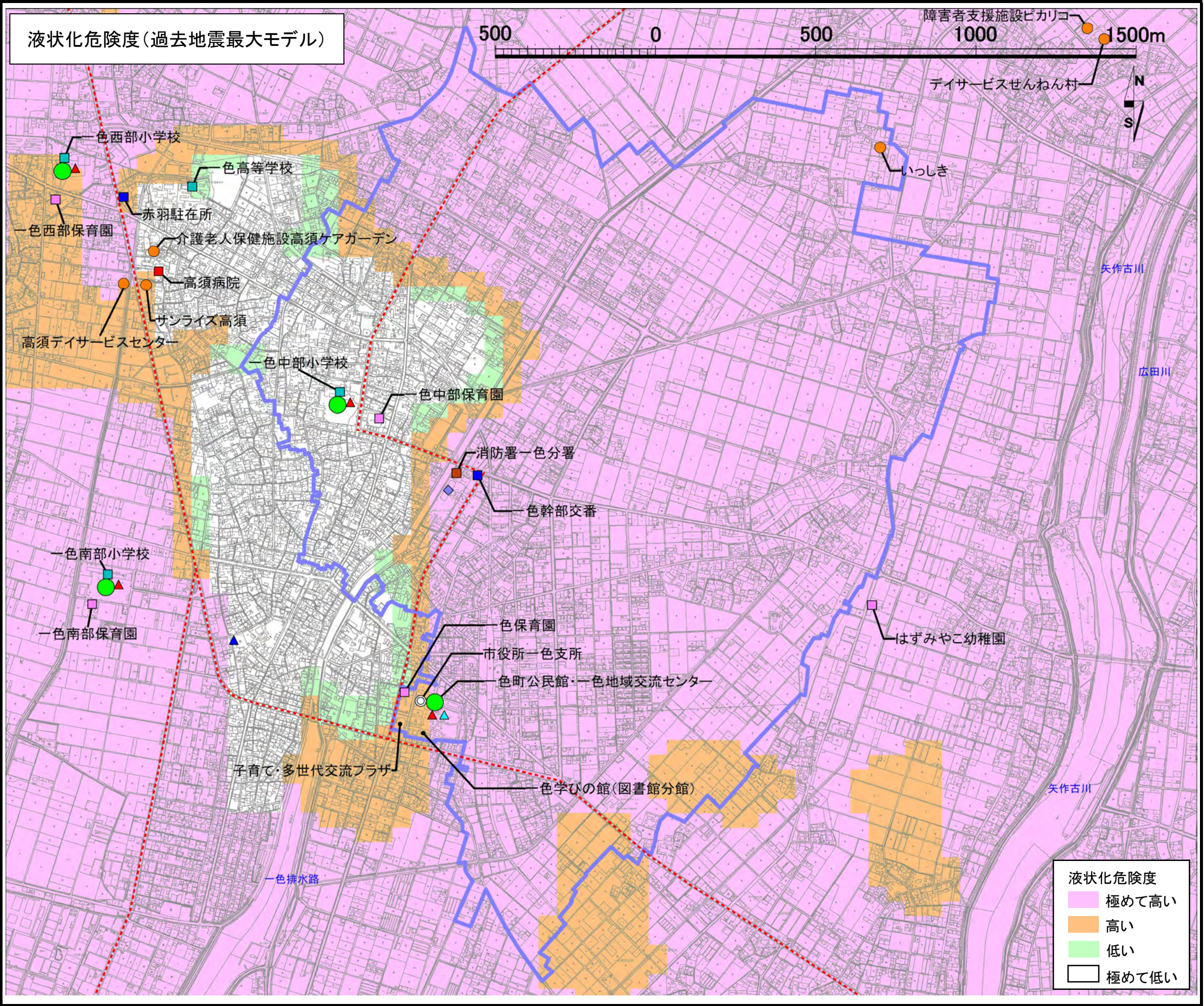
建物全壊数	1088 棟
建物半壊数	1794 棟
死者数	313 人
重傷者数	66 人

●過去地震最大モデル震度分布図



●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所 (地震時使用可)	学校
福祉避難所	幼稚園・保育園等
市役所・支所等	防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
警察署等	水防倉庫
消防署等	飲料水兼用耐震性貯水槽
救急病院	防災活動拠点
水位観測所	衛生施設
雨量観測所	その他の施設
小学校区界	市町村界
鉄道	緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

④津波被害

地区No	17
地区名	一色中部小学校

●地区別津波被害の特性

地区西部の一部を除き、ほぼ全域が浸水想定区域で、広い範囲で1m以上3m未満の浸水深が想定されることから、避難目標は地区外の福地中学校、福地北部小学校、福地保育園である。逃げ遅れた場合は、地区内に5箇所ある津波一時待避所に避難することになるが、一色中部小学校を除き、すべて浸水想定区域に含まれているため、高層階への避難が必要となる。

●避難環境評価

津波一時待避所収容者数	3790 人
避難所収容者数※1	1536 人
避難者数	7546 人
津波浸水想定区域外までの距離※2	約 7.0 km

※1津波被害における避難所収容者数は「命を守った後に避難生活を送ること」を想定して算出している。

※2西尾市津波避難計画（令和5年4月修正）に記載された校区のみ記載している。

●津波浸水深

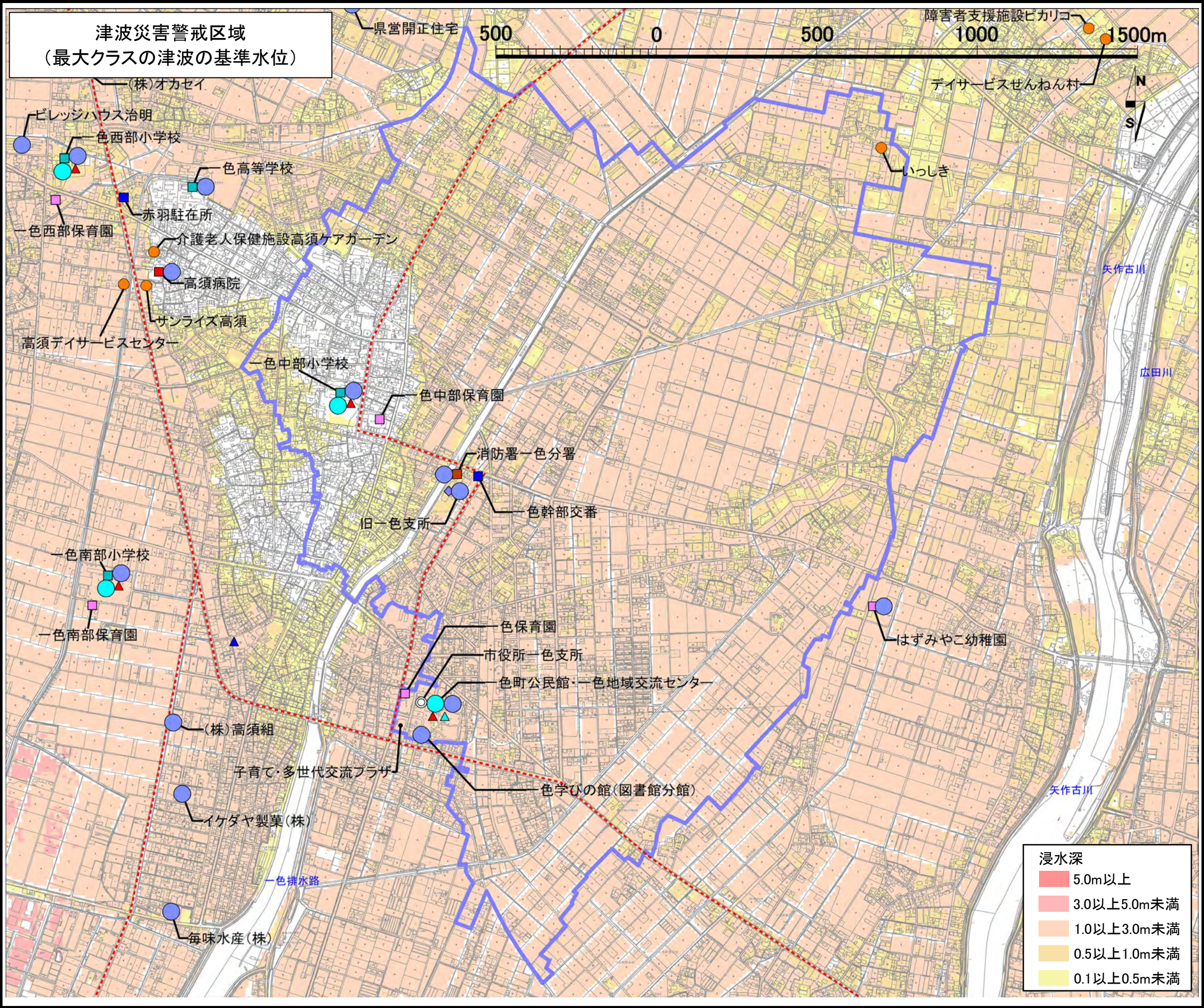
最大クラスの津波の基準水位	
最大津波水位	1m以上3m未満
過去地震最大モデル（参考）	
最大津波浸水深	2m以上3m未満

●津波発生時の避難先

避難目標：福地中学校、福地北部小学校、福地北部保育園
緊急避難先：一色中部小学校、一色町公民館・一色地域交流センター、旧一色支所、消防署一色分署、一色学びの館

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所（津波時使用可）	学校
津波一時待避所	幼稚園・保育園等
福祉避難所	防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
市役所・支所等	水防倉庫
警察署等	飲料水兼用耐震性貯水槽
消防署等	防災活動拠点
救急病院	衛生施設
水位観測所	その他の施設
雨量観測所	
小学校区界	市町村界
鉄道	緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

⑤高潮被害

地区No	17
地区名	一色中部小学校

●地区別高潮被害の特性

ほぼ全域が浸水想定区域となっており、広範囲にわたり3m以上5m未満の浸水深となるほか、一部では最大浸水深が5m以上となる。
市役所一色支所や指定避難所である一色中部小学校、一色町公民館・一色地域交流センターは、浸水想定区域に含まれている。
早期の地区外への避難も検討した方がよい。

●避難環境評価

避難所収容者数	6561 人
避難者数	7546 人
最長避難距離	約 2.5 km

●高潮浸水深

最大高潮浸水深	5m以上10m未満
---------	-----------

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所
(高潮時使用可)

福祉避難所

市役所・支所等

警察署等

消防署等

救急病院

水位観測所

雨量観測所

学校

幼稚園・保育園等

防災倉庫・防災資機材庫・
その他備蓄倉庫等

水防倉庫

飲料水兼用耐震性貯水槽

防災活動拠点

衛生施設

その他の施設

小学校区界

鉄道

市町村界

緊急輸送道路

